



令和 7 年 3 月中旬号

第48号

発行者 三中地区市民委員会文化広報部 / 市民委員会事務局 TEL 843-1233 FAX 843-1294



## 三中地区文化祭





三中地区文化祭は、昨年の11月17日、19日に開催されました。今回の新企画は消防車に代わり警察署のパ



トカーの展示や、試乗サービスがあり、子ども達に人気でした。



コロナ以前の規模での開催を目指して、文化祭実行委員会では精力的に企画をおこない、地域の皆さんのたくさんの来場がありました。

## 土浦郷土かるた

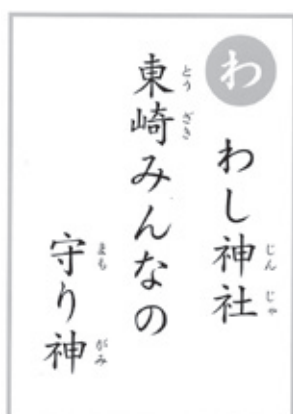
制作 土浦市子ども会育成連合会  
協力 土浦市・土浦市教育委員会

「土浦郷土かるた」は、市内の名所・旧跡を読み札に絵で表現したもので25年ほど前に作成されました。52枚中11枚が三中地区の生徒が作成しました。  
今号では最後の3枚を紹介し

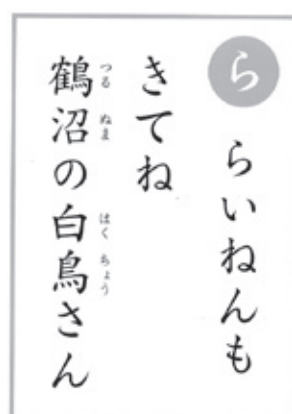
す。  
○絵札作成者 □読み札作成者

○伊原 千恵 乙戸小1年

□三中地区以外の生徒作品



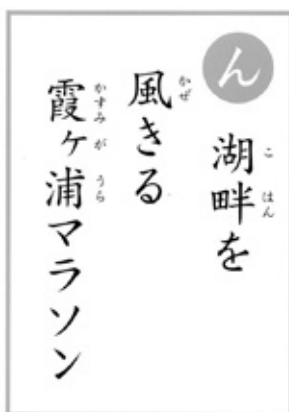
○三中地区以外の生徒作品  
□佐藤 航平 中村小3年



【ん】

○嶋田 朗人 荒川沖小4年  
□下村 有佑 乙戸小6年

(作者の学年は当時のものです)



## 市民委員会活動

令和6年度下半期の三中地区市民委員会6部門の活動を報告します。

青少年育成部・スポーツ健康部

## 筑波山を制覇しよう

〜郷土の有名な山に挑戦〜

10月26日開催のチャレンジクラブでは、曇天でしたが気温が20度前後

で暑すぎず、寒すぎずちょうどよい気候の中、筑波山登山を実施しました。



登山ルートは、「おたつ石コース」↓白雲橋コースで山頂を目指しました。急こう配の登り坂、足場の悪い岩場等々、難所も多かったですが、みんなで励まし合いながら山頂(女体山877m)に到達することができました。女体山から下界の美しい景色を眺望することを期待していましたが、あいにく山頂には雲がかかっていて、願いかなわずちょっと残念でした。紆余曲折を経ながらゴール地点の御幸ヶ原に到着し、昼



食をとりました。(さらに、男体山の頂上を目指した人もいました。)山登りの後のお弁当は格別のおいしさで、お弁当を頼張っている姿が印象的でした。最後にもう一つの楽しみおみやげを買ってロープウェイで下山しました。チャレンジクラブ



ブ員の参加者の感想文には、「つかれた」「きつかった」という文言が多く見られましたが、筑波山を踏破できたことで、それを上回る「達成感」を味わうことができたようです。

青少年育成部の鈴木部長、スポーツ健康部の山崎部長をはじめ、たくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。

チャレンジクラブ通信より

## 安全部

### 「救命講習会」

10月5日に開催。もしもの時、救急車が来るまでの間に周りの人が応急救置をとることで救命率は確実に上がると言われております。大切な家族や友人のために、基本的な心肺蘇生やAEDの操作を学びました。当日は受講者9名と、消防等4名による講習でした。



## スポーツ健康部

### 「ヘルシーボール大会」

この事業は毎年、健康づくりの環境として練習会＆大会を開催しています。ラグビーボールを大きく柔らかくしたような面白いボールを使ったバレーボールのようなゲームです。

年齢・性別を超えてチーム4〜6名程度、個人参加でも楽しめる気楽なスポーツです。今回は11月からの



練習会を経て、令和7年2月2日（日）に東小学校体育館で大会を行い、31名の参加がありました。

## 福祉部

### 「認知症サポーター養成講座」研修



## 環境部

### 「ゴミ拾い大作戦」

10月20日に開催。学園東大通りから常磐自動車道方面に向けゴミ拾いを実施しました。

市民委員会の各部長、副部長、地区長、さわやか環境推進員、環境部員など35名の参加がありました。ボランティア袋を手にして、ゴミを一つひとつ軍手やゴミばさみで拾いながら和気藹々と歩きました。



## 文化広報部

### 「歌声喫茶」

「思い出のメロディー」を歌おう





文化広報部

青少年育成部

スポーツ健康部

文化祭の興奮を引きつぎながら翌々週11月30日に文化広報部企画の「歌声喫茶」を開催しました。

全20曲を約100名の来場者全員で合唱し、前半の休憩前に土浦シニアアンサンブルのメンバーによるバンド演奏を楽しみました。バンド演奏では「映画音楽メロディー」エンディングに「百万本のバラ」が好評でした。後半の最後に曲のミニ解説を担当したソングリーダーによる感謝の曲「さようなら」を送りました。

今回は昨年以上の来場者があり、アンケート内容も大変好評なご意見を頂き、文化広報部らしいイベントであったとスタッフ全員うれしく感じました。



「町のイルミネーション」

うちの町自慢

12月8日素晴らしい天気の中、3部共催企画で「第2回移動学習会」を企画し27名が笠間市を訪問。

「笠間稲荷神社周辺」と「石切山脈」で部員相互の交流が実現できました。

11月から今年の1月にかけて中荒川沖町内にクリスマスイルミネーションをご自宅に設置される方と、公民館玄関上にニユーイヤーイルミネーションが自前で設置され町内の話題となっています。

編集後記



三中地区市民委員会は令和6年度の活動を3月で完了します。各部員の皆様ご苦勞様でした。

来年度の6部門のメンバーはこの後、各地区長の推薦によって、三中地区公民館を拠点に新たな活動を開始します。皆様の参加をお待ちしています。

さて、編集作業中の2月13日関東地方は風速20m以上の北からの強風に見舞われ、砂ぼこりでホワイトアウト状態でした。

傘は持って行かれ、飛ばされた帽子を追いかけて車道へ飛び出した男児が車と接触し重体となるなど悲惨な事も起きましたし、茨城県常総市では「枯れ草火災」で2000人以上に避難指示が発令されたり、つくばエクスプレスでは屋根材が飛来し運行停止したりと、大変な事が多いです。

また「消えた米21万トン」これはどうなっているのでしょうか、埼玉県八潮市の道路陥没での現在も救出されない運転手、など色々な災難が連続し不安な世の中です。

逆に、漁業関係では「ブリ・イワシ・ズワイガニ」が豊漁で重くて船に乗り切れない嬉しい驚きも起きています、安く口に入れば幸いです。

大リーグの大谷翔平・山本由伸・佐々木朗希もキャンプインしました。日本人3選手に大きく期待しています。

文化広報部長 赤川 澄信

特集 つちまるバス

◇つちまるバス意見交換会 会長挨拶

西根南三丁目自治会長 森 浩孝



令和2年度より「中村南・西根南地区コミュニティバス」の運行に向けて、つちまるバス意見

交換会を幾度となく開催し議論を重ね、「つちまるバス」として令和3年10月に第1便を発進させました。

三中地区公民館敷地内の停留所前で開始式典を行う中、参集頂いた皆様とともに拍手をもって、つちまるバスを送り出しました(感無量)。

運行開始後も、年に2、3度の意見交換会を継続し、「いかにしてアピールし、乗車人数を増加させていくか」を常に検討してまいりました。おかげさまで、定員8名の「つちまるバス」は現在、1便当たり36人となり、実証運行期間としては上々の成績となります。

今回、目標値を設定したことから、令和8年4月には、晴れて本運行開始を迎えたく、さらなる御利用、また、まだ乗車されたことがない方は、一度は乗って、「良い点、悪い点、改善すべき点」の御意見を御寄せいただければ幸甚に存じます。

◇つちまるバスご利用者の声

中村南一丁目在住 70代 女性

知らない地域の方と知り合いになれ、短い乗車時間であつたけど、楽しく過ごすことができました。

地区でも知らない所があつたり「この場所は以前こういう場所だった」とか教えてもらい話が弾んでよかったです。

西根南一丁目在住 40代 男性

家族のお見舞いのため、中交差点から霞ヶ浦医療センターまで週1回程度利用しています。免許は持っていますが、車を所有していないので、つちまるバスを利用しています。

1乗車200円は他の交通機関に比べ、安く移動することができ、助かっています。現在は、中村南・西根南地区を経由して、イオンモール土浦や霞ヶ浦医療センターなどへ運行していますが、利用者の声や利用状況を集約して、市外の運行なども検討してほしいです。応援していますので、引き続き、頑張ってください。

◇つちまるバスを地域の足として

都市計画課交通政策室 田村 隆典

令和3年10月から運行を開始して、早いもので3年半が経過しました。



利用状況は順調に伸び続け、令和6年度(4月～12月)の1便当たりの乗車人数は36人、収支率は14.3%です。これもひとえに当バスが地域の皆様に愛され、ご利用いただいている賜物と存じます。

現在は実証運行期間中(令和8年3月31日まで)のため、このたび本格運行に向けた目標設定を行いました。

公共交通は皆様の気兼ねないおでかけを支える手段であり、地域の活性化に必要不可欠なまちづくりのインフラですが、乗らなければなくなってしまうと復活は困難です。

「いつか乗るから、今は車があるから」ではなく、今のうちから公共交通に慣れておくことも大切です。また、普段車を運転される方も「クルマときどき、つちまるバス」でご利用いただくことが、地域の足として定着することにつながりますので、目標達成に向け、さらなる利用促進をお願いいたします。

【目標値】

・1便当たりの乗車人数37人  
・収支率15.8%  
\*\*\*

令和7年1月4日から一部停留所の変更・廃止を含む運行内容の改正を行いました。改正内容は、つちまるバスガイドブック(令和7年1月発行)をご参照ください。